

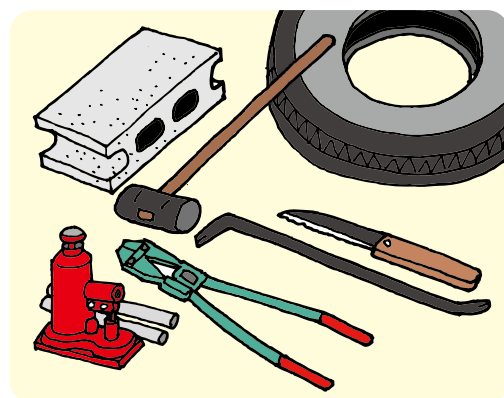
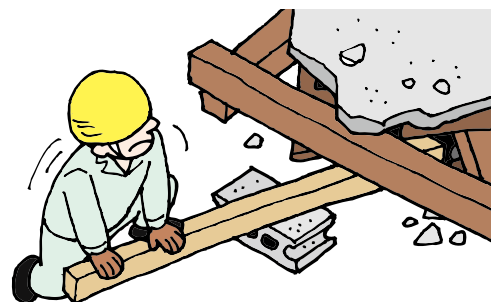
7 救出・救助訓練

1 ねらい

地震などの大規模災害現場では、迅速な救助、救出活動が求められるため、普段から資機材の取扱い方法、救出方法を学びます。

2 必要なもの（参加人員30人程度の目安）

（品目）	（数量）
のこぎり	5
バール	5
ジャッキ	5
ボルトクリッパー	5
ハンマー	5
角材（太さ10cm以上のもの）	5
古タイヤ、コンクリートブロック、鉄線	適量
朝礼台など	1



3 内容紹介

倒壊した家屋などに閉じ込め、または下敷きになった人を想定して、のこぎり、バールなど資機材を活用して救出・救助訓練を実施します。

4 訓練の進め方

(1) 事前準備

- 使用資機材を必要数用意します。
- 斧、なた、のこぎり用に木材を用意します。
- バール用に古タイヤかコンクリートブロックなど、金ハンマー用にコンクリートブロックなどを用意します。
- ボルトクリッパー用に鉄線を、ジャッキ用に朝礼台などを用意します。
- 要救助者として、人形などを材木等の下に入れておきます。

(2) 事前説明

- ブルーシートを敷き、その上に各防災資機材を並べ、各資機材の品名、取扱い要領、用途を説明します。
- 次に、防災資機材倉庫の場所と地区内のどこに他の防災資機材倉庫があるのかということを説明します。
- 最後に、資機倉庫内のどこに防災資機材があるかを説明します。

(3) 訓練実施

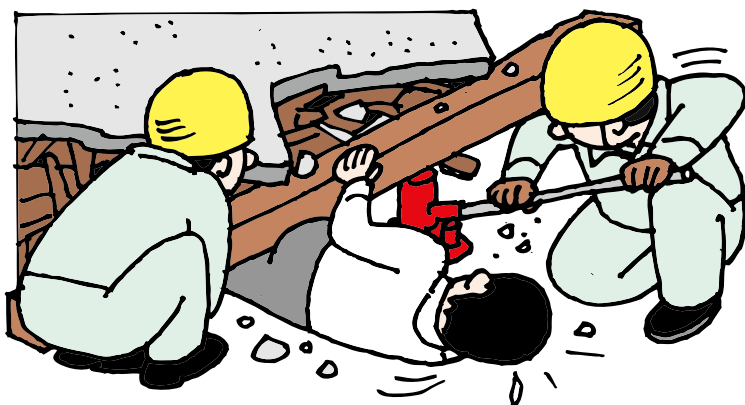
用途に従って、切る、削る、割る、掘る、押し上げるといった作業を実演します。

参加者の皆さんに使ってもらいます。子どもや女性には無理をさせないようにしましょう。

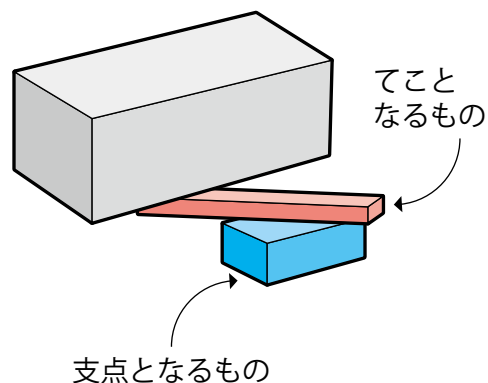
実際に救出・救助訓練を実施するのは難しいので説明程度とし、資機材を使用して「てこ」などを体験する程度にとどめてもよいでしょう。

【救出方法】

- ・閉じ込められている人に声をかけて安心させ、中の状況を聞きだす。
- ・ジャッキやてこを利用して、かぶさっているものを持ち上げる。
- ・できた空間に角材などを入れて支える。
- ・作業のしやすい場所から除去や破壊を行う。



▼てこの利用



ちょっと アドバイス

ケガをしないよう安全管理を！

- ・除去や破壊を行う場合は、その周囲が崩れないように注意します。
- ・支えやてこに使う角材などは、できるだけ太くて亀裂などが入っていないものを使用します。

フォロー アップ!

【訓練を終えたら…】

- ☆近くにある資機材倉庫の位置や、中に入っている資機材を確認してもらうように参加者の方にも伝えましょう。
- ☆家にあるもので、救助などに使えるものがないか、参加者の方に調べてもらいましょう。